保険者国保事業紹介

疾病傾向に合わせた健診
保険税、口座振替や納税相談を行う

宇治田原町

宇治田原町では、被保険者の疾病予防及び早期治療を図るとともに、健康管理に対する意識を高めるため、これまでから人間ドック・脳ドック・肺ドック等に対する助成やＩＴ等を活用した生活習慣病改善対策に取り組んできました。今後も、特定健診・特定保健指導を中心とした保健事業の推進に取り組み、医療費の適正化を図っていきたいと考えています。

【宇治田原町の概要】

宇治田原工業団地

宇治田原町は、宇治市、城陽市、井手町、和束町に隣接し、滋賀県との県境にあたる京都府の東南部に位置しています。四方を山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた本町は、日本緑茶発祥の地として古くから茶業、林業を中心に栄えてきました。また近年では、近隣の関西文化学術研究都市の整備や、京都・大阪への交通の利便性から新しい産業拠点として注目を浴びています。

本町を取り巻く諸環境は年々その厳しさを増してきていますが、『心をつなぎ ともに創る 茶文化のまち』を将来像に、住民と行政とが協力・連携し、知恵を出し合い、心と力を合わせて、「住んで良かったなあ」と言えるまちづくりを目指しています。

【国保の概況】

本町では、国保の資格、賦課、給付などの全般的な業務を保険環境課が担当しています。また、保健事業については、健康長寿課（保健センター）と連携を図りながら推進しています。

［世帯数・被保険者数の状況］

平成 20 年 4 月 1 日現在の町国保の加入状況は 1,625 世帯、3,454 人で、町民全体に対する加入割合は、世帯数で 48.95%、被保険者数で 33.96%となっています。

加入世帯数は増加傾向にありますが、被保険者数はやや減少傾向にあります。

＜国保加入世帯数、被保険者数の推移＞　（単位：世帯・人）

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
国保加入世帯数	1,573	1,577	1,615	1,612	1,625
国保被保険者数	3,602	3,556	3,596	3,524	3,454

※各年 4 月 1 日現在

［保険税の状況］

本町では、4 方式を採用し、保険税を賦課徴収しています。

平成 19 年度の収納率は、現年度分が 96.29%と近年を上回りましたが、滞納繰越分は 16.54%にとどまっており、医療費に見合った適正な保険税の確保が課題となっています。

収納率の向上は、国保財政の安定的な運営に欠かせないものであることから、今後も資格取得時における口座振替の勧奨や個別の納税相談を行うとともに、滞納者宅への電話催告や訪問徴収を実施するなど、より一層の収納率の向上に努めていかなければならないと考えています。

＜国保税収納率の推移＞　（単位：%）

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
現年度分	94.75	95.70	94.56	95.48	96.29
滞納繰越分	19.06	13.62	14.19	14.50	16.54

【医療費の状況】

生活習慣病の増加や医療技術の進歩などにより、本町の医療費も増加傾向にあります。中でも、本町における腎透析の医療費に占める割合は府内平均を大きく上回っています。

平成 19 年度の１人当たりの医療給付費は、一般 205,233 円、退職 369,997 円、老人 916,257 円でしたが、近年、町内及び近隣地域に立地する医療機関への受診利便性がますます高まっており、医療費はさらに増加するものと思われます。

＜１人当たり医療費の推移＞　（単位：円）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
一般分	167,764	179,305	229,185	198,794	205,233
退職分	304,215	275,754	386,091	359,402	369,997
老人分	663,314	648,825	908,334	877,899	916,257

【保健事業の取組み】

保健事業としては、人間ドック等の受診に対し、当該費用の 7 割相当分を助成しています。健診区分としては、従来の人間ドック、脳ドックのほか、平成 17 年度からは肺ドックを、平成 19 年度からは 50 歳以上の男性を対象とした前立腺腫瘍マーカー検査を追加し、近年の疾病傾向に合わせた幅広いメニューを設定。被保険者の疾病予防及び早期発見・早期治療に努めています。受診者は年々増加しており、自らの健康への関心が高まっていると思われます。

＜人間ドック等受診者数の推移＞　（単位：人）

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
受診者数	46	56	69	77	87

※平成 20 年度は受診予定者数

健康づくりのつどい

毎年秋には、住民を対象とし、健康管理や食生活について学ぶ「健康づくりのつどい」を町を挙げて開催しています。会場には、骨粗しょう症等の検診コーナーや血管年齢等の測定コーナー、栄養や健康の相談コーナーを設け、楽しみながら健康への意識を高めてもらえるような取組みを目指しています。

また、生活習慣病改善に向けた取組みとしては、携帯電話やパソコン等のＩＴを活用した在宅型の個別行動支援事業や、実践型の集団教育・健康事業を実施し、住民の健康保持増進に努めています。

今後は、新しくスタートした特定健診・特定保健指導を柱に、生活習慣病の予防・改善に重点を置いた保健事業を推進していきたいと考えています。